

2018年4月9日掲載 物流ニッポン

顧客の立場で考える

第一貨物

真面目に ひた向きに



第一貨物(武藤幸規社長、整備職8人、運転職は30人山形市)は2日、本社で入社式を行った。事務職19人、校訪問など採用活動を強化し、前年より14人増を確保した。

を確保した。

武藤社長が「低成長時代の中で、近年はネット販売など我々が想定しなかった物流形態が生まれている。『輸送さえすればいい』という時代は終わった。顧客側に立ち、いかに満

武藤社長(右)の前で答辞を述べる飯塚さん

足してもらえるサービスを提供するかが問われている。顧客の立場でものを考えることが大切だ」と説明。更に、「創立77年を迎えた当社には、幾多の困難を乗り越えてきた社風がある。長年培ってきた、仕事に対して『真面目に、ひた向きに取り組む』姿勢だ。この社風を引き継ぎ、自分の役割を果たして欲しい」と訓示した。

また、はなむけとして①目標を持つ②自立③自己研さん④誠実に生きる⑤趣味を持つ——という人生訓を贈った。

新入社員を代表し、飯塚壮士さんが「私たちは大きな希望を胸に、社会人として第一歩を踏み出す。未熟者だが、いち早く一人前の社員となり、期待に沿えるよう全力で取り組む」と答辞を述べた。

新入社員を代表し、飯塚壮士さんが「私たちは大きな希望を胸に、社会人として第一歩を踏み出す。未熟者だが、いち早く一人前の社員となり、期待に沿えるよう全力で取り組む」と答辞を述べた。